

当院のコロナ感染予防対策についてのご案内

現在、社会的に深刻な影響を与え続けているコロナウイルスですが、みなさまの中にも歯科医院におけるコロナウイルスへの感染対策を心配なさっておられる方が非常に多いと思います。現時点において、空気感染を起こすのか、飛沫や接触における感染しか起こらないのかなど、はっきりとした情報はわかりませんが、考えられるすべての可能性に対して予防の手段を行うということが最善の策であることは間違い無いと思います。

一般的には、不特定多数の方がいる場には極力出ていかない、どうしても出ていく必要があるのならばマスクの着用をし、その場にいる方がたとの接触は控える。電車やバスなどに乗る際には手すりや吊革などに気をつける必要があるかもしれません。また、帰宅時には入念な手洗いとうがいを行い、もっとも近い家族間での感染を起こさないように配慮をするなどです。

歯科医院におきましては、歯科特有の環境に対して、通常の感染予防よりもさらに入念な取り組みが必要だと感じています。大事にしなければならないのは、「スタンダード・プリコーション」(標準的予防措置)と呼ばれる考え方に基づいた体制が医院として整っているかです。「スタンダード・プリコーション」とは感染症の有る無しに関わらず、あらゆる患者さんや利用者の方に対して、感染があるかもしれないという可能性を考慮して行われる予防行動です。「汗を除くすべての血液、体液、分泌物、損傷のある皮膚・粘膜は感染性病原体を含む可能性がある」という原則に基づき、手指衛生や防護具(マスクやグローブ、防護メガネなど)の着用を徹底し、感染リスクを減少させる予防策を示しています。

例えば、ウイルス感染を起こしている方が無症状のため本人にも感染の自覚がないまま受診なさっていると仮定して、患者さんの診察は開放的で多くの方と同じ空間になるようなことがないように、なるべく個室での診療が良いでしょう。その個室も常に換気がなされていることが大切です。また、虫歯の治療や入れ歯の治療などで歯を削っている時に、その切削粉がウイルスと一緒に室内に飛び散らないよう口腔外バキュームと呼ばれる吸引器を設置・使用していることが好ましいです。また、治療に使用する器具や材料などは単回使用・ Disposable であることはもちろん、口の中に使用される医療機材はウイルスを死滅させることができる高いレベルでの滅菌がなされていることが大切です。

このようなことの積み重ねが、結果として感染リスクのコントロールに大きく影響を与えます。

当院では、以下のような取り組みを行っておりますので、ご一読下さいませ。

ヒカルノ 歯科の新型コロナ対策について

■受付にて、新型コロナウイルス染が疑われる症状の有無を確認させていただいております（発熱、諸症状について）

■**37.0 度以上**体温がある方の診療はおことわりさせていただいております

■スタッフ全員、毎朝、昼食後に必ず検温を行っており、**37.0 度以上**の場合、もしくはその家族に発熱がある場合は出勤を控えています。また、体温の記録を必ずとるようにしています。

■全ての患者様に**コロナウィルスを殺菌する洗口剤**を使用して頂き、安全な治療を進めていきます。



■アポイントごとに **15 分間**の換気を行っております。

■患者様の人数制限を行い、待合室で複数の方がお待ちいただく環境をつくらないようにし、**社会的距離**を確保しています。また、マスクの着用が無い方は**院外待機**をお願いすることがあります。

■次回のご予約はチェアサイドで取らせていただき、会計の準備ができるまで、チェアで待機いただくようにしています。待合室で**複数の患者様が接触する機会を減らすため**です。

■フェイスガード、フード付きガウン、グローブを着用の上、**完全防備**で治療にあたらせていただきます。



■受付にはアクリルボードを設置し、**飛沫感染を防ぐ**ようにしています。



■院内の空気を除菌するために、アポイント毎の**アルコール噴霧**を行っております。

■常日頃からエプロンや紙コップは**ディスポーザブル製品（使い捨て）**を使用しております。

■ドアノブや取手、チェアなど患者様が触る共有部分はこまめに**アルコール消毒**を行っております。

■感染のリスクとなるエアロゾル発生を伴う超音波スケーリング等の治療は控えております。

安心して受診できる
細部まで徹底した衛生管理

コロナ
感染対策
実施中

世界最高水準の滅菌器を導入しており、常にクリーンな院内を維持し、院内感染を予防しています

当院の滅菌・消毒システムについて

院内感染をご存知ですか？

現在、コロナ感染が世間を賑わせていますが、皆様はご自身が通われている病院の衛生面を気にしたことはありますか？

皆様が日頃から通われている様々な病院には、常に「感染症」のリスクが潜んでいるのです。

その感染症も多岐にわたっており、インフルエンザウイルスをはじめ、HBV（B型肝炎ウイルス）感染症、HCV（C型肝炎ウイルス）感染症、結核、はしか、水痘、風疹などが挙げられます。

当院ではこれらの感染症の媒介を引き起こさないように、院内環境の向上と滅菌・消毒に力を入れています。

スタンダードプリコーション

スタンダードプリコーション（標準感染予防策）とは「あらゆる人の血液・体液や分泌物、損傷のある皮膚、および粘膜には感染の可能性があると考えて取り扱う」という考えをもとに、全ての人に実施する感染予防対策のことです。

当院でもこのスタンダードプリコーションの考えに則って院内感染対策を行っており、いかなる場合でも安全安心に受診して頂けるように衛生管理を行っています。

滅菌・消毒のサイクル

当院では下記のイラストのようなサイクルで消毒・滅菌を行っており、常にクリーンな環境を維持しています。



当院の院内感染に関する取り組み

① ディスポーザブル（使い捨て）

当院では、治療でよく使用するグローブ、エプロン、コップ、マスクは全てディスポーザブルです。使いまわしをするようなことは一切ありません

② クラス B 滅菌器

当院ではクラス B と呼ばれる世界最高水準の滅菌器を導入しています。

滅菌器はその性能において3つのクラスに分けられており、当院が導入している「クラス B」が最高ランクとなり、その次に「クラス S」、そして最後に「クラス N」とランク付けされています。一般的に日本国内で普及されているのは「クラス N」で、最高ランクのクラス B を導入している医院は5%にとどまります。このクラス B の滅菌器を使用すれば、器具に付着しているウイルスを全て死滅させることができるので、院内感染を心配する必要はありません。



●滅菌と消毒・殺菌の違い

【滅菌】

すべての細菌やウイルスを物理的、化学的手段を用いて死滅させること、もしくは完全に除去すること

【消毒・殺菌】

人体に有害なウイルスや細菌の感染性を物理的、化学的な方法を用いて菌量を少なくすること

●様々な滅菌器を導入しています

【ハンドピース自動洗浄・注油システム】

歯を削るタービン・ハンドピースもしっかりと滅菌しています。このシステムを使用することで、器具内部に付着しているウイルスや菌をしっかりと除去することができます。



【小型高速高圧滅菌器】

インスツルメントやタービン・ハンドピースを高速で滅菌し、安全な状態で器具を利用することができます



【チェア】デンツブライシロナ社製 sinius

当院の治療用チェアには、治療に使う機器から出る水や、患者さんがうがいがさる時の水に至るすべての水回路が殺菌できる特殊な機能を備えています。チェアから出てくる水は常にきれいな状態であるので安心してください。

③ 院内で使用する水も安心安全！

【EO水 強酸性水生成器】

EO水とは、水道水に少々の塩を加え、特殊な電気分解を行うことにより、殺菌水として生まれ変わります。

ヒカルノ歯科では、滅菌器にかけることのできないプラスチック製品の消毒や手洗い等にも使用し、院内感染の予防を徹底しています。

